

2023年度は20名の研修医の方々が当院で研修をされました。  
提出いただいた感想文を掲載しています。

鹿児島大学病院 村上 祐一 (研修期間：2023年4月、5月)  
鹿児島大学病院 池田 憲司郎 (研修期間：2023年5月、6月)  
北海道大学病院 松浦 美郷 (研修期間：2023年6月)  
北海道大学病院 山本 健太 (研修期間：2023年8月)  
鹿児島大学病院 永井 廉士 (研修期間：2023年7月、8月)  
福岡大学病院 落合 祐生 (研修期間：2023年8月)  
北海道大学病院 齊藤 航 (研修期間：2023年9月)  
鹿児島医療センター 坂江 卓哉 (研修期間：2023年9月)  
鹿児島医療センター 富山 高至 (研修期間：2023年9月)  
鹿児島大学病院 田畑 有弥子 (研修期間：2023年9月、10月)  
鹿児島医療センター 坂田 雅道 (研修期間：2023年10月)  
福岡大学筑紫病院 中川 卓哉 (研修期間：2023年10月、11月)  
鹿児島医療センター 鶴園 尚史 (研修期間：2023年11月)  
鹿児島医療センター 宮崎 研斗 (研修期間：2023年11月)  
鹿児島医療センター 寺原 真咲 (研修期間：2023年12月)  
鹿児島医療センター 増田 愛子 (研修期間：2023年12月)  
(敬称略)

## 種子島医療センターでの研修を終えて

鹿児島大学病院 研修医2年 村上 祐一

研修期間：2023年4月、5月

2か月間という短い間でしたが、非常に貴重な経験をさせていただきありがとうございました。種子島医療センターでの研修を決めたきっかけは、なんとなく島に行ってみようという好奇心と、先輩から種子島は楽しいという話を聞いていたからでした。

実際に種子島で研修を始めたときは、仕事にも慣れておらずいろいろと大変でしたが、2か月たった今では鹿児島市内に帰るのが名残惜しいくらい、とても楽しい生活を送らせてもらいました。宿舎のすぐそばに病院もスーパーもありとても生活しやすく、車も貸してもらえたため、休日に観光をする機会もありました。この2か月間、仕事もプライベートもとても充実したものとなりました。

私は外科で研修させてもらいましたが、薬の処方や検査オーダーなどの基本的な病棟管理から手術の手技など様々なことについて学ばせてもらいました。特に手術には毎回入らせてもらいとても勉強になりました。今後機会があれば、また種子島を訪れてみたいと思います。2か月間お世話になりました。

鹿児島大学病院 研修医2年 池田 憲司郎

研修期間：2023年5月、6月

種子島での2か月間の研修生活を終えて、今一番感じているのは、多くの経験を積ませていただいたことへの感謝です。病棟業務はもちろん、外来や訪問診療、診療所での診察、学校健診、看取りなどバリエーションも豊富で充実した研修生活でした。中でも看取りは種子島に来てすぐの頃だったので、ご家族へのICなど全く自信がありませんでした。しかし、田上寛容先生に任せると言われたのでやるしかないという覚悟を決めて、内心ドキドキしながら表では落ちついた雰囲気を使い、ご家族にお話をし、死亡確認まで行えたと思います。

自分にはまだ早いとか難しいと思えることを任せられ、出来た出来なかったは別として、自分なりに考え経験させていただいたことは大きな自信につながりましたし、医師としての自覚が芽生えました。また、困ったときは指導医の寛容先生はもちろん、他科の先生方やコメディカルの方々に、常に相談に乗っていただきました。おかげ様で一人不安な気持ちになることもなく、楽しく研修を終えられました。

鹿児島に住んでいるので、種子島にはいつか必ず行きたいと思っていました。実際に種子島で生活してみると美しい海に囲まれ食事も美味しく、何より人が温かかったです。私は、いつかまた種子島に戻ってきて医療に貢献できる日が来ることを望んでいます。そのために自分が今何をしなければならぬかを考え、自己研鑽に励んでいこうと思います。

最後になりますが、美味しい食事と快適な住まいを用意していただいたので、仕事に専念できました。種子島医療センターの関係者の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

北海道大学病院 研修医2年 松浦 美郷

研修期間：2023年6月

今回私は、種子島医療センター小児科にて1か月間お世話になりました。小児科は外来業務がメインであり、私も外来診療を経験させていただきました。これまで外来をほぼ経験したことがなかったため、最初は緊張しうまくいかないことがたくさんありましたが、三浦先生、井無田先生がとても熱心にご指導くださり、複雑な症例でなければなんとか1人でも診察できるようになりました。3週目には、インフルエンザ・コロナの爆発的発症があり、発熱外来で多くの対応をさせていただき、非常に貴重な経験だったと感じています。また、先生方だけでなく看護師さん、クラークさんたちにもたくさん助けていただきました。皆さん患者さんやご家族のキャラクターを把握してらっしゃるので、診察前に接し方についてアドバイスをくださったり、処置のコツを教えてください、本当にお世話になりました。

診療所と訪問診療では高齢の患者さんの診察の様子を見させていただきました。患者さんが先生を信頼している様子がよく伝わってきて、地域に根付いた医療とはこういうことなのだと実感いたしました。島の方言でおしゃべりしながらの診察は患者さんがリラックスしている様子でとても印象的でした。

その他、小児科以外の先生にも、外科の手術見学をさせていただいたり、当直に一緒にいらさせていただいたり大変お世話になりました。また、コメディカルの方々と距離が近く、放射線技師さんや理学療法士さんとやりとりする機会もあり、良い経験となりました。本当にたくさんの経験をさせていただき、充実した1か月間を過ごさせていただきました。病院を離れるのは寂しい思いでいっぱいですが、こ

の経験を忘れずに今後の医師人生に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

北海道大学病院 研修医2年 山本 健太

研修期間：2023年8月

私は2023年8月1日から31日の1か月間、当院内科で研修をさせていただきました。月頭の台風襲来から始まった研修でしたが、振り返ると仕事でもプライベートでも多くの貴重な経験をできました。

仕事では、数人の入院患者の病棟管理を任せただけでした。特に重症患者の管理を主体的に行えたことは大変勉強になりました。担当した患者は、集中治療室で加療すべき状態だと考えられましたが、当院にはその設備がなく一般病棟で管理していました。離島医療における限界と、限られた設備で可能な限り患者を診る工夫を垣間見ることができました。最終的にこの患者は亡くなりましたが、死亡確認後に医師としてやるべきことや、その後の治療に関する反省も含めて今後の医師生活の糧となる経験を積めました。

また、上述の台風により代診として多数の外来患者も担当できました。短い時間制限の中で、効率良い鑑別の手順や患者へ掛けるべき言葉を考える良いきっかけになりました。

プライベートでは、マリンスポーツが最も印象に残っています。今まで海の近くの地域に住んだことがなかったので、マリンスポーツの経験は皆無でした。今後もダイビングやサーフィンをする予定はありませんでしたが、こちらで実際にやってみて、特にサーフィンは本土へ帰った後も趣味にしていこうと思うほど楽しい経験でした。

以上のように、この1か月間のイベントは種子島に来なければ経験できなかったであろう出来事ばかりであり、種子島での研修をするという選択は間違っていなかったと確信しています。

最後に、北海道からの研修を受け入れていただいた高尾尊身病院長、田上寛容先生をはじめ、実際にご指導いただいた内科の先生方や日々の生活のアドバイスをしてくださった職員の方々へ改めて感謝の意を申し上げ、筆を置かせていただきます。1か月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

鹿児島大学病院 研修医2年 永井 廉士

研修期間：2023年7月、8月

2023年7、8月に種子島医療センターの外科で研修させていただきました。もともと外科志望であり、1年目のときに種子島の外科は楽しいという評判を2年目の先生から聞いて種子島に行くことに決めました。

患者の数も少なくなく、自分なりに病棟業務をこなすのは、慣れない中では大変に思いましたが、外科の先生方はもちろん、他科の先生方、スタッフの方々も優しく教えてくださり、とても勉強になりました。また大学病院ではできないことをさせていただいたり、細かい手技を教えていただいたりと、これから先の外科医としてやっていく中で糧になるようなことを学ぶことができたと思っています。

途中台風の影響で1週間丸々休んでしまったことについては大変反省しており、また自分自身もその間手術や手技ができないことに対して悔しい気持ちがありましたが、それでもこの2か月はとても濃いものでした。またいつか、種子島医療センターに戻ってくるかもしれないかもしれませんが、そのときには今より成長した姿を見せることができるように、努力していこうと思えます。2か月間本当にお世話にな

りました。

**福岡大学病院 研修医 2年 落合 祐生**

研修期間：2023年8月

地域医療実習として内科を1か月間ローテートしましたが、離島ならではの多くの経験が出来ました。研修初日に高尾病院長への挨拶が終わった後の外来業務がまず新しい経験でした。

これまで救急搬送された患者の診察を経験したことはありませんでしたが、日中の救急以外の外来は初の経験であり慣れないことばかりでした。幸運にも同時期に内科で研修することになった山本先生や他の上級医の先生方に相談をしながらなんとか業務をこなしていけました。診断の目的が付いた後に患者に状態を説明し、今後の対応の説明は特に難しかったです。今回の実習を通して多少なりとも習熟できました。入院患者の対応では入院で処置を行っても症状の改善に乏しい患者に本土での治療を進めるまでの流れを、担当医として関わり離島医療の大事な要素を学べたと思います。

種子島観光では、初週は残念ながら台風のため外出できませんでしたが、その翌週以降から合計3回のダイビングを行い講習会も受講しました。今後、福岡に戻った後も趣味の1つとしていきたいと思います。毎夜、用意していただく夕食は大変美味しく、店の食事でも西之表市内だけでも魅力的な店が多く、全く回り切れませんでした。病院スタッフ以外の島民の方々も皆おおらかで、この実習が終わった後も再度、島に来たいと思えました。

最後に今回の実習では初めての経験も多く至らない点も多かったと思いますが、他の先生方、看護師、クラークの方々のサポートのおかげで充実した研修を行うことができました。1か月間ありがとうございました。

**北海道大学病院 研修医 2年 齊藤 航**

研修期間：2023年9月

消化器内科で主に研修をさせていただきました。実際に内視鏡操作を教えていただきながら胃内や大腸の観察をさせていただくなど実践的な研修ができ、大変有意義でした。また、入院患者さんの管理も久しぶりに任せていただきました。救急外来にも呼んでいただき急性期から慢性期、回復期まで様々な患者さんの診療ができました。

訪問診療に同行し、また地域の診療所の診察にも参加させていただきました。本土とは違った環境で離島ならではの医療を肌で感じる事ができました。島内でできることは全力で実施するといった強い意志が感じられました。

消化器内科の指導医の先生方が、とても親身になって内視鏡に関わることや病棟管理について教えてくださいましたので、非常に実践的かつ有意義な研修となりました。また、鹿児島大学から応援に来てくださる先生も親しみやすく様々なことを教えてくださいました。

休日には「種子島を観光しておいで」と快く送り出してくださり、綺麗な景色を見たり、歴史や文化を感じることができました。朝食、夕食が病院より支給されたので食事に困ることはなく、宿舎も綺麗で快適に過ごすことができました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

## 鹿児島医療センター 研修医 2年 坂江 卓哉

研修期間：2023年9月

種子島医療センターでの1か月間の研修が終了した。私は鹿児島出身ではあるものの、これまで離島を訪れたことがなく、種子島に来るまでは不安ばかりであったが、無事研修を終えることができた。それは多くの人に支えられ、達成することができたと思う。

この研修期間、病棟管理と一般内科外来を中心に多くのことを学ばせていただいた。病棟管理に関しては、自分なりに検査や治療をアセスメントし、上級医の先生方に相談し、方針を決定していくというのが大まかな流れであった。また、自身の至らないところが多く、先生方だけでなくコメディカルのスタッフの方々にも多くのアドバイスをいただいた。皆さん忙しい中にも関わらず対応してくださったので、充実した病棟業務をすることができた。

一般内科外来に関しては、これまで経験が少なく初めてのことばかりであった。患者さんの問診から検査、治療方針までのアセスメントをする以外にも、例えば他科へのコンサルトから外来・検査予約などといったことが必要になってくる。そのような業務はまだ経験したことがなかったので段取りがわからず、焦ることがあったが、上級医の先生方や外来看護師さんに助けられ、なんとかやり遂げることができた。今後の医者人生で必要不可欠な経験をまた一つ、この一般外来で学ぶことができた。

改めて、この1か月間多くの人に助けられてきたことを実感する。上級医の先生方やコメディカルのスタッフの方々と種子島の人々の心の温かさを感じることができた。今後後輩の研修医たちにも積極的に種子島医療センターでの研修を勧めていきたいと思う。

最後になりますが、川島先生、下園先生をはじめ、先生方やスタッフの方々には感謝しております。1か月間ありがとうございました。

## 鹿児島医療センター 研修医 2年 富山 高至

研修期間：2023年9月

1か月間、循環器内科で研修させていただきました。主に週3回の内科初診外来と病棟業務、救急外来での研修となりました。今までの研修では救急外来のウォークインなどを見たことはありましたが、一般外来を一人で診ることはほぼありませんでした。循環器疾患に限らず、さまざまな主訴で来られる方を一人ひとり問診・診察し、鑑別診断を挙げ、検査をオーダーし、治療を考えるという非常に勉強になる研修でした。ほかの研修医と相談したり、指導医の先生からのバックアップをいただいたりしながら、試行錯誤して診療の経験を積むことができました。

また、病棟業務では入院から退院まで担当医として診療に関わらせていただき、検査オーダーや方針決定など自ら考える機会も多く、今までの研修よりも主体的に患者さんの治療に携われたと思います。特に循環器内科の指導医の先生方が何でも聞きやすい雰囲気を作ってくださいりととても充実した研修になりました。

また、循環器内科以外の先生にお世話になることも多かったです。糖尿病性足壊疽の緊急アンプタの手術に入らせていただいたり、外来でハチ刺傷や猫咬傷の症例をみたりなど、他の研修ではあまり経験できない症例をみられたのはとても勉強になりました。

研修以外でも休日は種子島の観光地やお店を巡ることができ、種子島での生活も楽しませていただきました。幸運なことにロケット打ち上げもあり、実際に現地へ行って打ち上げを見ることができたのは一生の思い出になりました。

1か月間という短い期間でしたが、先生方をはじめ、医療センターのスタッフの方々、事務の方々など多くの方に助けていただき、有意義な研修をすることができました。この経験を今後に活かしていけるよう精進していきたいと思います。1か月間、ありがとうございました。

#### 鹿児島大学病院 研修医2年 田畑 有弥子

研修期間：2023年9月、10月

2か月間お世話になりました。私は生まれも育ちも鹿児島ですが、種子島を訪れたのは今回が初めてでした。昨年4月に1つ上の先輩が種子島医療センターでの研修について仕事のことも含めて楽しそうに話していたことが印象的で、私も種子島で働いてみたいと思い、今回の研修を希望しました。

種子島に来たときは進路を決めきれていなかったのですが、外科系も選択肢の1つにあったので、今回は外科で研修させていただきました。私は外科系に進むことを考え出した時期が遅く、外科系の診療科であまり研修をしていなかったため、初めは外科での研修が少しだけ不安でした。しかし、外科の先生方は優しく、カメラの上手な見せ方などの手技的なものから術後管理などの知識的なことまで、細かく教えていただけました。

また、手術経験が少なく長い手術に耐えられるか自信が無かったことも進路に迷っていた原因だったのですが、今回の研修で長い手術や夜間の緊急手術を経験し、進路を決める自信に繋がりました。初めは不安だった研修も2か月が終わる今は名残惜しく、もっと働いていたかったと感じています。2か月間本当にありがとうございました。

#### 鹿児島医療センター 研修医2年 坂田 雅道

研修期間：2023年10月

私は10月に1か月間整形外科で研修させていただきました。元々、栃木県出身ということもありまして、種子島は遠い存在でしたが、地域実習を種子島で研修できたことを大変嬉しく思います。

印象に残ったこととして、種子島医療センターの特徴であると思うのですが、急性期病棟と回復期病棟があり、実際手術した患者様がリハビリして歩けるようになって帰っていくところを見られたことです。急性期病院では体験できないことだと思いますし、医師冥利に尽きることでした。

自分は釣りが趣味でありまして、仕事終わりにイカ釣りに行き、プライベートでも充実させることができたことに加えて、病院の方、島民の方々は優しく、温かい人が多く、非常に幸せな1か月でした。いつか恩返しができるように日々精進して参ります。1か月と短い間でしたが、ありがとうございました。

## 福岡大学筑紫病院 研修医 2年 中川 卓哉

研修期間：2023年10月、11月

10月に脳神経外科、11月に整形外科で研修させていただきました。もともと種子島については、鉄砲とキリスト教の伝来など、歴史の教科書的なことしか知りませんでしたが、大学病院の研修協力病院のリストから種子島をみつけ、ぜひ行ってみたいと思いました。

季節的には暑さも去っていくところで、海水浴シーズンは過ぎてしまっていました。代わりにバイクであちこちを回るのにはちょうど良い気候でした。種子島の道路はなだらかで走りやすく、また風が心地よく吹き、心地よく景色を堪能しました。

種子島医療センターでは、これまであまり機会のなかった外来診療を主体的にさせていただいたことが印象的でした。患者さんによって院内で出せる薬を優先したり、保険の適応を考えたりと、外来ならではのポイントがあり新鮮でした。これまでに経験した病院よりも患者さんとの距離が近く、何気ない質問や世間話などにこたえながら診療しました。

これまでにない症例をたくさん経験し、またオフでは思い切り島を探索できた2か月間でした。屋久島にも訪れ、すぐ近くの2つの島で全く違う気候や自然環境を感じました。とても充実した研修生活を送ることができ、心より感謝申し上げます。

## 鹿児島医療センター 研修医 2年 鶴園 尚史

研修期間：2023年11月

11月の1か月間、脳神経外科で研修させていただきました。私は来年度から鹿児島大学脳神経内科に入局させていただく予定であり、離島医療と脳神経の関わりについて学びたかったからです。

脳神経外科では、朝回診をした後にそのとき得た情報や検査結果を踏まえて、アセスメントをして点滴や抗生剤をオーダーしたり、次の検査をオーダーしたりといった病棟管理が日々の業務でした。この中で抜管やルンバルなどの手技を経験させていただきました。

脳卒中コールで救急対応を行うときには、問診や身体診察で情報を集めることが研修医の主な役割で、意識障害の方や構音障害の方から聞き出すのは意外と難しかったです。そして様々な検査をした後に先生と話し合って治療方針を決めるのですが、その中で血豆状動脈瘤破裂によるくも膜下出血という珍しい症例に立ち合わせていただきました。

手術に関しては、事前に血管内造影検査や血管内治療の手技や意義について先生から懇切丁寧にご指導いただき、大変勉強になりました。例えば、カテーテルを進めるコツやカテーテルの名称、それぞれの使い方等です。そしてその知識と技術を持って本番の手術に臨みましたが、思うように馴染めず、現場の難しさを痛感しました。

種子島には以前に一度だけ訪れたことがありますが、ここで1か月間過ごしてみて比較にならないほど島のことを知ることができました。国上から南種子までのさまざまな観光地や飲食店の数々、この島の歴史などなど。ここで得た経験を今後の診療に活かして行けたらと考えています。本当にありがとうございました。

**鹿児島医療センター 研修医2年 宮崎 研斗**

研修期間：2023年11月

福岡出身で大学から鹿児島に来て10年経った。鹿児島に離島が多いことは知っていましたが、今まで離島を訪れたことはありませんでした。大学での実習で離島に行くチャンスがあったものの、新型コロナウイルスの影響で実習は中止となり、行けなかったからです。今回種子島で1か月研修できたことは本当に嬉しかったです。

主に整形外科で研修を行いました。救急外来で骨折の患者の対応から手術まで様々なことを経験しました。診療所や訪問診療、日々の外来を通し、地域の病院や患者のニーズを知ることができました。

研修外では、毎日島中をドライブし、様々な観光地やカフェ、レストランなどを訪れ種子島のことが大好きになりました。種子島を飛び出して屋久島まで観光に行ったことも良い思い出です。種子島にはやさしい人が多く、とても過ごしやすいかったです。本当にありがとうございました。

**鹿児島医療センター 研修医2年 寺原 真咲**

研修期間：2023年12月

私は、生来ずっと鹿児島県内で生活してきたが、離島に行った経験がほとんどなかった。また、学生時代の地域実習はコロナ禍でリモート学習になってしまったため、地域医療・離島医療に触れる機会がなく終わってしまった。地域研修では離島医療を経験したいと考えていたこと、また昨年種子島医療センターで研修をした先生方に研修内容や種子島の魅力を聞き興味を持っていたことから種子島医療センターでの研修を選択した。

内科の研修では、主治医に近い形で病棟管理ができたり、外来での初診を担当したりと他の病院ではなかなかできない経験ができると聞き、内科研修を選択した。病棟では専門分野にとらわれず内科全般を担当しないといけないことに戸惑うこともあったが、良い経験となった。また、初めて担当患者さんの死を経験し、医療の難しさも改めて考えさせられた。

外来研修は分からないことばかりであったが、循環器内科の先生方や看護師さん、クラークさんに支えていただきながら経験を積むことができた。自分の対応や処方など反省点も多かったが、今後に生かせる良い研修ができたと感じている。訪問診療や診療所では、患者さんやその後家族とより密な信頼関係を構築し、診察をする先生の姿がとても勉強になった。種子島の人の暖かさや優しさもたくさん感じた。

内科研修を選択したが、外科の先生方に縫合を教えていただいたり、他の内科の先生からアドバイスをいただいたりと診療科の垣根を越えてご指導いただき、大変充実した1か月を過ごすことができた。

研修外でもきれいな海を見たり、美味しいものを食べたり、宇宙祭のイベントに参加したりと種子島の魅力も存分に味わうことができ、種子島医療センターでの研修を選択して良かったと感じている。1か月間大変お世話になりました。ありがとうございました。



鹿児島医療センター 研修医2年 増田 愛子

研修期間：2023年12月

出身は熊本県で中学から鹿児島で生活しております。種子島に来るのは今回が初めてで、最初は不慣れなことも多く大変でしたが、とても充実した1か月となりました。来年からは産婦人科入局を予定しております。

今回私は1か月間外科で研修させていただきました。腹腔鏡手術でのカメラ操作は、難しく時間がかかる部分も多くありましたが、先生方に熱くご指導いただき、自分なりに工夫しながらひとつひとつの手術に参加することができました。腹腔鏡下縫合トレーニングでは、これまであまり意識してこなかった基礎的な部分を沢山教えていただき、3年目以降にも生かせる知識や手技のこつを身に付けることができました。

また、外科の先生方はもちろん、他診療科の先生方やスタッフの皆様にも大変お世話になりました。内科外来や訪問診療、診療所での研修など地域医療ならではの視点や現場を見ることができ、それぞれの現場で得るものが多くありました。また、ドクターヘリ搬送など離島ならではの症例も見ることができたことは貴重な経験となりました。

振り返ると1か月は本当にあっという間でしたが、非常に濃密な研修期間となりました。素晴らしい環境の中で、充実した研修をさせていただき、本当に有難うございました。